

赤ちゃん誕生記念事業&斜陽館音声ガイド&定例記者会見



太宰治の生家「斜陽館」において、音声ツアーガイドが導入され、国内はもとより、外国からのお客様にも、より一層魅力を体感いただけるようになりました。

また、今年度より毎月1回、定例記者会見を行います。色々な情報を積極的に発信してまいりますので、ご期待ください。

3月3日 赤ちゃん誕生記念事業

3月3日、コミュニティセンター七和において、七和地域住民協議会による赤ちゃん誕生記念品贈呈式が開催され、私も出席しました。

こうした活動が平成10年度から継続して行われていることは、地域のつながりを大切にされてきたからであると思っています。

今年度は10人の赤ちゃんが誕生したということで、地域に愛され育てられ、元気にすくすく成長することを願っています。



3月12日 斜陽館に音声ツアーガイドが導入されました

3月12日、太宰治の生家「斜陽館」において、音声ツアーガイドが利用できるようになり、実演デモンストレーションを行いました。

このツアーガイドは、スマートフォンからQRコードを読み込むことで、日本語はもちろん、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語のガイドを聞くことができます。

音声によるガイドは、解説看板に比べ情報量も多く、聞きながら館内を見学することで、これまで以上に斜陽館を満喫いただけると思っています。青森県誘客交流課国際交流員のご協力により、外国人旅行者の皆さんにとっても理解しやすい内容となっており、生誕110年を迎えるこの機に斜陽館の魅力が世界へと広がることを期待しています。



4月4日 定例記者会見を行いました

当市の魅力やイベント情報を発信し、市民の皆さんと一緒に五所川原市を盛り上げていきたいとの思いから、今年度より毎月1回の定例記者会見を行うこととし、4月4日、第1回目となる会見を行いました。

今回は、特別企画展「太宰治展—生誕110年—」をはじめとした太宰治生誕110年を記念したイベントと金木桜まつりについて、お知らせしました。特別企画展は、4月26日から立佞武多の館2階美術展示ギャラリーで開催し、太宰が愛用していた鋳物の灰皿や万年筆、原稿や落書きしていたノートなど、貴重な品々100点以上を展示しますので、4月27日に開会する金木桜まつりと併せて、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。



太宰治生誕110年記念パンが完成しました



パンの完成を報告した工藤会長(左)と斎藤営業部長(右)

太宰治生誕110年に伴い、株式会社工藤パンがこの度記念パンを開発し、4月1日、その完成を佐々木市長に報告しました。

パンは、3種類で「イギリストースト(津軽産りんごジャム&はちみつ風味クリーム)」と「人間失格カステラサンド」が4月1日から発売され「わいはっ!

走れメロンパン」が5月1日からの発売予定となっています。完成を報告した工藤恭裕代表取締役会長は「おいしい商品に仕上がりました。これを通じて、太宰治を県内外のたくさんの方に知ってもらい、生誕110年を盛り上げていきたい」と話しました。



今回開発された記念パン